

window items

窓

周りアイテム

窓に何を取り付ける？

カーテンなど窓周りのアイテムには、インテリアとしてだけではなく、外からの目隠しや、採光や遮光、保温や遮熱、防音、通風といったさまざまな機能があります。引っ越しや部屋の模様替えの際には、好みだけではなく機能も意識して選びましょう。今回は、窓周りの代表的なアイテム、カーテン、ブラインドカーテン、ロールスクリーンについてのお話です。

CURTAIN



カーテン

ご家庭での窓周りアイテムとして最も一般的なのがカーテンです。洗濯がしやすく、清潔に保ちやすい特長があります。無地から印象的な模様まで選択肢が多様で、手軽に部屋の印象を大きく変えることができます。UVカットや断熱、遮光など機能も幅広くあり、目的に沿って選ぶことも可能です。一方、結露などの湿気でカビが生えることもあるので時々チェックが必要です。

BLIND CURTAIN



ブラインドカーテン

ブラインドカーテンは、外からの視線を遮りながらも、光量の微妙な調整がしやすいことが最大の特長です。通風性が良く、アルミ製の場合は、湿気にも強いので水回りでの使用に向いています。シンプルでスマートな見た目も選ばれる理由の一つ。デメリットとしては、羽根一枚一枚のほこりや汚れを拭き取るのに手間がかかること、カーテンに比べると断熱性や防音性が低いことなどが挙げられます。

ROLL SCREEN



ロールスクリーン

フラットな一枚布を巻き取って、光量を調整するのがロールスクリーンです。カーテンは、開き切った状態でも窓の両側にあり存在感が強いですが、ロールスクリーンは窓上部にコンパクトに収まりほとんど気になりません。ただし、全部巻き上げると外から丸見えになるので、何らかの工夫が必要です。カーテンやブラインドカーテンを取り付けにくい細長の「スリット窓」に対応した商品もあります。